

愛

ちゃん

ゆく!

— 県議体験記 —

第34話

政調会長

私は県議会の「民主・県民クラブ」という会派に所属し、10名(このうち女性は4名)の議員で活動しています。2年前からは「政調会長」という、いかにも固い名前の役になりまして、代表質問(年4回、みんなで質問を作ります)や知事への要望を取りまとめたり、会派の勉強会を企画したりしています。議員はそれぞれ立場や考え方が違うところもあるので、普段は個別に活動することが多いのですが、会派でまとまって動くことで、お互いの考えや関わる分野を理解しあうことができ、まとまりとなって県に

意見を伝えることができます。



この日は久米南町の交通施策の視察の後、中高生の居場所を運営する「よりみちハウス」を訪問。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの達の保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子供と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぱ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第34号]
発行：2025年4月(2025年2月議会報告)

最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808



みなさま、こんにちは。
先日、ヤングケアラーの支援について大学生と話しあう機会があり、そこで「私も障がいのある家族がいて、ヤングケアラーだった」という学生さんのご意見を聞きました。現在福祉を学んでいる彼女は、「誰かに頼ってもいいという



友人から勧められて読みました。人の悩みや抱える困難は個人的なものではなく、社会的政治的なもの、という考えに賛同します。

大塚愛

県政レポート(2025年4月発行) [第34号]



コスモスの花言葉：調和、謙虚、乙女の愛情

いっぱ通信

- P.02-03 多様な生徒を受け入れる高校
- P.01 お互いに支えあっていける「ケアの社会化」を
- P.02-03 おもな活動記録から「交通政策／太陽の丘公園」
- P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2025年1月～3月)



困難なご相談を受けた時には、市議の鬼木のぞみさんや國友さよさんに相談して、力を貸してもらうこともあり、女性議員の間は心強い存在です。

から子どもをひとりの人として尊重し、自分で意見が言えることや他人に助けを求められることをしっかり教えていると書かれていました。
まわりに頼ってもいいし、お互いに支えあっていけばいいという「ケアの社会化」がもつと共通認識になることで、誰もが安心して生きられる社会になればと思います。

日々のうごき 2025年1月～3月		御津母谷総会		2.27 代表質問(高原議員登壇)	
1.5 御津PFAS現地調査		2.3 吉備中央町御北小学校訪問、		2.28 みつかフェ@御津高、	
1.8 みつかフェ@岡山御津高校		2.4 常任委員会		中学生だっぴ@久米南中	
1.10 「新建築職人論」講座@県立大学		2.5 映画「小学校～それは小さな社会」、環境保全型農業意見交換会@笠岡		3.1 岡山御津高校卒業式	
1.11 民団新年賀詞交歓会、大道新春の集い、たんぼネットワーク定例会、フラワーデモ@エキチカ広場		2.7 予算総括協議会		3.2 連塾20周年記念祝賀会	
		2.8 手話歌練習		3.4 一般質問(～11)、岡山県バス協会の懇談	
1.12 岡山市消防出初式、在日本朝鮮岡山県商工会70周年記念式典		2.9 大学生とのヤングケアラー意見交換会		3.7 一般質問登壇、合田哲雄氏講演、	
1.13 吉備中央町新春互例会		2.10 七草・佐藤康彦さんを偲ぶ会@竹枝		マンズリーライブ出演@禁酒会館	
1.15 常任委員会(環境文化保健子ども福祉)		2.12 PFAS問題懇談@吉備中央町、岡山県青少年問題協議会		3.8 セツの新聞ちぎり絵@牛窓	
1.17 とまりぎ@赤磐市、たんぼネットワーク岡山市との懇談		2.13 常任委員会、みつかフェ、県政市政おはなし会@大元公民館			
1.19 吉備中央町消防出初式、御津新庄原区総会、憲法学習会@立憲自治の会		2.14 特別委員会、ソンさん講演@吉備中央町人権教育講座		3.9 3.11から未来へ「生きて、生きて、生きる。」上映会	
1.20 精神保健福祉センター訪問、ガイアシンフォニー第六番上映会		2.15 訪問介護学習会@福祉オンブズおかやま、後楽館中学校CC発表、中井志穂さん講演@ストップ性暴力おかやま、西大寺会陽(女子会陽参加)		3.10 引きこもり支援KHJきびの会訪問	
1.21 地域計画説明会@建部		2.16 ストリートチルドレンチャリティーコンサート出演、マリルイズさん講演@国際女性デー記念講演		3.12 たけべ部活動日@建部中	
1.23 常任委員会		2.17 交通政策会派視察・よりみちハウス訪問@久米南町		3.17 常任委員会、みつかフェ振り返り会	
1.24 特別委員会(教育再生・子ども福祉)		2.18 交通政策推進議連視察@熊本・福岡		3.18 國友さよさんとの意見交換@みどり岡山	
1.25 谷口たかひさ氏気候変動講演会、京山地区ESD・SDGsフェスティバル		2.21 2月議会開会		3.19 2月議会閉会、県営グラウンドの意見交換	
1.26 御津鹿瀬地区総会		2.22 手話講座、八潮市議と下水道管理意見交換会online		3.20 あそんで!まなぼうさい@北長瀬、18トリノミーの子どもたち写真展	
1.27 同窓生動画収録@操南中学校、みどり岡山会議		2.23 そうじゃ吉備路マラソン(5km)		3.22 おかやま希望学園卒業式	
1.28 竹枝小学校参観日		2.26 光吉ひとし事務所開き@鏡野町議選挙		3.23 春の建部里山まつり	
1.29 岡山県華僑華人総会春節の集い				3.24 太陽の丘公園オープニング式典、カメラアノさん個展、いちのみやフォーラム@一宮公民館	
1.30 「緑と水の道」会議@絵図町、国民スポーツ大会スケート表彰式@倉敷		2.21 2月議会開会		3.25 光吉ひとしさん鏡野町議選応援	
1.31 生理革命委員会作戦会議		2.22 手話講座、八潮市議と下水道管理意見交換会online		3.26～27 福島の親子さん春休み保養@渋川	
2.1 御津紙工総会、御津久保総会、		2.23 そうじゃ吉備路マラソン(5km)			
		2.26 光吉ひとし事務所開き@鏡野町議選挙		3.30 オーガニックビレッジ意見交換online	
				3.31 岡山市移住定住支援協議会、PFAS問題意見交換会@円城地区	

2月議会で取り上げたことから 自己肯定感や主体性を育む高校へ



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら
YouTube

多様な生徒を受け入れる 県立高校について

Q. 岡山御津高校では新入生がR4年度には59名まで減少していましたが、生徒募集や生徒指導の方針転換をする中で、R6年度は119名と2倍近くに増えました。学校サポートルームや通級指導、マイプレイス(不登校の中学生の居場所)など、さまざまな包摂的な取り組みをされており、県内外からの視察も多く、注目されているようですが、県教委としてどのように受け止めていますか。

教育長 これまで「発達支持的生徒指導」に全校あげて取り組み、大学進学から学び直しまで、多様なニーズに応えるカリキュラム編成や、地域と連携した居場所づくり、いつでも悩み事を相談できるサポートルームなど、校内環境を整えてきた。その結果、県内各地の多くの中学生から選ばれる学校になっていると認識している。

Q. 「発達支持的生徒指導」は、どういう特徴があり、どのように進めますか。

教育長 従来の生徒指導と比べて、子どもが自発的・主体的に自らを発達させていくことが尊重され、教員はそれをいかに支えて

いくかという特徴がある。これを導入すると、子ども自らが決定する場面が増え、自己肯定感が高くなることに繋がる。いまだ理解が不十分な教職員も見られるので、あらゆる研修の機会を通じて伝えていきたい。

Q. 御津高校の実践を他でも取り入れて、多様な生徒が安心して頑張れる環境を県立高校において強化していただきたいと思いますが、いかがですか。

教育長 御津高校では生徒の主体性を尊重することで、生徒が支えあい、自己肯定感が高まり、達成感を得ることに繋がっており、県教委はその取り組みを広く周知している。特に通級指導などを行う高校において、多様な生徒がそれぞれの能力を伸ばせるよう取り組みを支援していきたい。

Q. 大分県では、県立高校で合理的配慮の提供についてのマニュアルやリストを作っており、これによって教員はその手続きや選択肢を知ることができ、配慮を必要とする生徒と学校が建設的に対話できる助けとなります。本県の県立高校にもこのようなマニ



御津高校には、少しゆっくりしたい時や相談したい時に利用できるサポートルームが設けられていて、学校生活の安心となっています。

アルが必要だと考えますが、いかがですか。

教育長 県教委としても、合理的配慮の継続きを明確にすることは必要と考えており、昨年度からの実践の成果をまとめたガイドブックを作成して、周知しようとしている。

Q. 県内の小中学校では、合理的配慮を申し出たのに、明確な説明もなく断られたケースもあると聞きます。教員に心理的、時間的な余裕がないことが一因になっているのではと懸念されますが。

教育長 教員の意識も課題の一つと考えられるが、校内での検討や保護者との合意形成など、手続きが分かりにくいことも課題と考えているので、ガイドブックを活用した研修や、インクルーシブフォーラムでの好事例

の発信をしていきたい。

子どもの相談できる 力について

Q. 「岡山いきいき子ども・若者プラン2025」の策定にあたり、子どもの意見を聞くためのオンラインアンケートを行ったところ、6767名の子どもたちから回答が寄せられました。様々なテーマに対してしっかりと意見が届けられましたが、「困っていることを伝えられない、相談できる人や場がほしい」と答えた子どもも多くいました。子どもが相談しやすいよう、相談窓口のハードルを下げる必要があると考えますが、どう取り組みますか。

子ども・福祉部長 子どもが相談しやすいSNS相談を導入し、学校を通じて相談窓口

岡山いきいき子ども・若者プラン2025(仮称)に対する子ども・若者からの意見のまとめ

意見募集期間：令和6年11月27日(水)～令和6年12月26日(木)

主な対象：県内全小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の児童生徒

意見募集方法：岡山県電子申請サービス(オンラインフォーム)

なんと、合計6,767人もの方から回答をいただきました！
ご協力ありがとうございました。

岡山県の子どもの意見が県政の参考にさせていただきます。

6767名の子どもたちから
県のプランについて意見が寄せられました。詳しくはこちらから

の周知をしてきた。普段から子どもが気軽に利用できる子ども食堂の民間団体の協力も得ながら、子どもにとって相談しやすい環境になるようにしたい。

Q. 県立学校では、子どもが心やストレスについて考える「SOSの出し方に関する教育」を行っています。子どものSOSに対してトータルに解決を促すためには、心理的アプローチだけでなく、必要に応じて福祉的支援を受けてもいいんだよという、福祉的なメッセージも加えていただきたいと思います。いかがですか。

教育長 福祉的支援が必要な生徒には個別に対応しているが、プログラムの中に加えた方がいいという意見をいただいたので、今後検討したい。

地域公共交通計画

Q. どこに住んでいても、自由に移動ができる手段が確保されていることは、県民の生活および幸福度にとって重要なことです。知事は、昨年の知事選を通じて、交通問題の重要性を再認識されたことから、本県の地域公共交通計画の策定を考えたと言われていますが、特にどんな課題を解決したいと考えていますか。



知事 地域公共交通をとりまく環境は人口減少などにより厳しさを増していて、鉄道やバスの維持が困難になっていることから、既存の公共交通の利用拡大や、交通空白地での新たな交通サービスの導入など、移動手段の確保が大きな課題と認識している。

Q. 新聞社の調査では、県内市町村の7割が担当職員の不足をあげていて、8割近くは予算全体に占める公共交通関連予算が1%未満でした。今年度の県の予算では何%ですか。また市町村の課題にどう取り組みますか。

知事 今年度の県の当初予算約7500億円のうち、公共交通にかかる予算は約0.1%。市町村の課題については、地域の交通課題に的確に対応できるよう、来年度(R7年度)は、市町村が行う取り組みに伴走型で支援する事業を新たに設け、具体的な取り組みへの補助制度も拡充し、支援を強化していく。今後も必要な予算を確保していきたい。

交通政策推進議連視察

@熊本・福岡(2月18日～19日)

交通政策の議員連盟の17名で九州に視察に行きました。福岡のバス事業所でも運転手が100名ほど足りないという課題に直面していて、ラップ調のPR動画発信や運転体験会を行ったところ女性にも人気だったとのこと。また、自動運転の実証では、道路沿いの街路樹やのぼり

に反応したり、信号の判断が難しいなど、まだ技術的な課題が残っていて、レベル4の無人運行にはまだ時間がかかるようでした。AIを使ったデマンド交通に取り組む市町村も増えつつあり、特に行政が住民に丁寧に説明している地域ではうまく進んでいるということでした。

福岡県庁で交通政策課長さんと意見交換。岡山と福岡、共通する課題も多く参考になりました。



おもな「活動記録」から

太陽の丘公園オープン

@岡山市北区伊島(3月24日)

入り口に大きな恐竜がそびえ立つ太陽の丘公園が、リニューアルオープンしました。半世紀にわたって愛されてきた公園を再び整備しようと、約7300万円を

かけて安全で楽しい遊具が整備されました。リニューアルにあたっては、広く県民の皆さんにオンライン投票を行ったり、子どもや保護者の意見も取り入れながら設計が進められていきました。山の上から滑り降りるローラー滑り台も生まれ変わり、ピョンピョン飛び跳ねる「プラ・ネット」も、新しい名物になりそうです。大人用のベンチも増設されています。ぜひお出かけください。



心待ちにされた公園がオープンし、子どもたちの楽しそうな歓声が響いていました。